

# 自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## 記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目( 1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目( 88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム かりん
(ユニット名)	ユニット 1
所在地 (県・市町村名)	新潟市中央区南笹口一丁目1-20
記入者名 (管理者)	小島 美恵子
記入日	平成21年1月31日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>理念として「出会いと利用者の願い尊厳を大切に、穏やかで笑顔溢れるサービスを提供しながら、その人らしい暮らしをサポートします。」を掲げ、地域への広報と外出機会を通じ、地域と密着したサービス提供に努めています。</p>	<p>地域の一員としての意識はまだ薄いかもかもしれませんが、今後は考えていきます。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>理念について職員会議やユニット会議の場で確認するだけでなく、事務所・休憩室に掲示し、常に意識するようにしています。更に、今年には理念に基づく身近な年間テーマを、職員が提案・選考し取り組んでいます。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>第1回の運営会議の場で説明、その他施設玄関に掲げていますが、特に家族や地域にお知らせはしていません。</p>	<p>広報誌や担当者からの近況報告の機会を通して、理解していただけるようにしていきます。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>隣接するデイサービス・ショートステイを利用されていた方が訪問されたり、上部にあるマンションの方がボランティアに訪られています。これらのおつきあいを大切にしています。</p>	<p>マンション以外の、近隣の地域の方の来訪が少ないので、広報誌や回覧板を検討します。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>上部のマンションの自治会と、デイサービス・ショートステイの行事などを交流の場としています。しかし、それ以外の地域交流は現在ありません。</p>	<p>民生委員・他の自治会長との連携を深め、地域との交流を深めていきます。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>上部のマンションの方の相談には答えています。しかし、それ以外の地域との交流は現在ありません。</p>		<p>相談があった場合は積極的に支援して行きたいと考えています。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>開業1年目の初めての評価で、評価項目を通して改めて、必要なことや、大切なことに気づく良い機会となりました。</p>		<p>評価結果を通して改善していきます。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>今回が初めての評価なので、これまで評価への取り組みの報告はしていませんが、利用者の状態や行事での様子、ホーム内の現況を報告・相談しています。いろんな意見やヒントを頂く良い機会であり、サービス向上に役立っています。</p>		<p>構成メンバーの検討を行い、より良いサービスを目指していきます。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>特に行っていませんが、利用者・家族の質問や相談で分からないときは、市の担当者に確認し答えています。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>行っていません。</p>		<p>今後検討し、機会があれば研修等参加し取り入れていきます。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>社内研修及びビデオ研修を行いました。ヒヤリハット等にも意識を向け、小さな事柄でも疑問を持ち、その都度話を聞くようにしています。</p>		<p>これからも虐待防止に関するビデオや研修を検討を取り入れていきます。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居前の事前訪問や見学の際に良く説明し、利用者・家族の不安解消に努めています。解約はまだありませんが、十分な説明を行い理解・納得を図って行きます。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議時に意見・不満・相談や情報交換等を行っています。しかし、他には機会を設けていません。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>暮らしぶりや健康状態は、面会時や受診時には必ず報告していますが、他の方法での報告はしていません。職員の移動については運営推進会議の場で行っています。又、金銭管理は最初からの約束で行っていません。</p>		<p>家族への便りとして担当者が、近況報告を行うことを検討しています。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>管理者・職員共に家族や親戚・友人の方々に、話しやすい雰囲気を作るよう努めています。また、玄関に意見受付箱を設置し、例えば匿名でも意見を云えるように配慮しています。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎日の申し送りや職員会議の場、更に、直接職員から情報を通し、必要と考えられることは検討し、改善に努めています。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>管理者が勤務表の作成を行っていますので、事前に分かっているものは対応する様に努めています。しかし、利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応までは、現在は出来ていません。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者に配慮し欠員以外の移動は行っておりません。退職者については、勤務表作成時に配慮し、心を許せる職員が途切れないよう努めています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員会議・社内研修・外部講師を招いての研修等を実施しています。又、各職員の長所を引き出して行くように考えていて、先輩職員によるOJTを実施しています。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	小規模多機能の運営推進会議に参加したり、他のグループホームの管理者と意見交換を行っています。又、近隣のグループホーム長に運営推進会議メンバーをお願いし、サービスの質の向上を図っています。		今後も積極的に続けて行き、刺激を受けながらより良い施設作りに反映させます。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩時間を決め、共有スペースから離れる時間を作ったり、勤務表作成時において希望休を申請させるように配慮しています。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	理念に基づく年間のテーマを職員同士で決め、年間目標としています。又、役割分担や居室担当等を行い、夫々の職員に向上心を持って働けるように配慮しています。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前訪問、電話での相談や、見学に来訪された時、本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめるよう努力しています。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学や事前面接時に、家族が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、どう対応できるか話し合うようにしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けたときに、本人の意向・家族の意向を考慮し対応していますが、他のサービス利用も含めた対応はしていません。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居当日は、本人が落ち着くまで家族に長時間居ていただいたり、又、管理者や担当する職員と一緒に過ごしていただいております。また、居場所作りを心掛け対応しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者・職員が共に笑顔で過ごしている姿は、とても微笑ましく思えます。教わったりお教えしたりしながら、共生できる楽しさを感じていただけるよう努めています。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時、連絡があった時には、喜び合ったことや、失敗したこと等についてお知らせさせて頂いております。又、外出やホーム内行事があるときは、家族にも参加を呼びかけています。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	良いことも悪いことも報告し、運営推進会議・外出・行事への参加を呼びかけ、より良い家族関係が築いていけるように支援しています。家族との関係の理解には時間がかかると思いますが、少しずつお話を伺いながら理解するように努めています。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、家族と相談したり協力を得ながら、支援に努めています。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者のこれまでの環境や、性格の把握に努めています。相性を考慮したりしながら、時には職員が橋渡しをしながら、支え合えるように努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	現在この状況はありません。		継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にする、支援を行っていきます。
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人・家族の希望や意向、習慣の把握に努め、希望に添った生活や関わりが出来るよう努めています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前面接時の情報を含め、継続して家族に協力をお願いし、把握に努めています。		家族や面会者から得た情報や、家族に記入いただいた事柄も参考にしながら、更に、多くの情報の把握に努めていきます。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ユニット会議の場で、利用者一人ひとりについて話し合いを行うことにより情報を共有し、現状を総合的に把握するように努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族の希望や意向を踏まえ、職員で話し合い介護計画を作成しています。場合によっては、協力医療機関の医師や併設施設の看護職員などからもアドバイスを頂いております。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じて見直しを実施しています。		3ヶ月毎の評価を見直していますが、見直し前に対応できない変化が生じた場合は見直しを行います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の生活記録に記入していることで、情報の共有をしています。記録の内容をもとに、介護計画の見直しに活かしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	美容については、併設する施設の職員に有資格が居ますので、随時相談しながら希望に応じた美容支援をしています。その他では今までに支援したケースはありません。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	月に2回ボランティアによる書道教室を実施しています。隣接するデイサービス・ショートステイのボランティアや行事にも積極的に参加し、支援しています。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	オムツ券を利用できる利用者には、施設へ直接届けてもらえるよう手配し、支援しています。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議時に相談や情報交換等を行っていますが、その他の協働は行っていません。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	同じ建物の1階に内科皮膚科クリニックがあります。ここは施設の協力医療機関であり、且つ、大多数の方がかかりつけ医としておりますので、良好な関係が構築され、適切な医療を受けられる環境にあります。		受診が必要な場合は、原則家族にお願いしています。やむを得ない場合は、職員が同行し受診しています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	今のところありませんし、支援もしていません。		家族の希望を伺った上で、隣接する協力医療機関に相談・紹介を頂き、受診や治療の受けられるよう支援していきたく考えています。
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	隣接するデイサービス・ショートステイの看護職員に相談し、支援しています。		併設する協力医療機関の医師や主治医に相談・紹介を頂き支援していきたく考えています。
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	今まで、救急入院、検査入院はありましたが、短期で退院し再入所されるケースだけでした。早期退院に向けた医療機関との協働等、そうした場合に備えた連携は行っていません。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在該当する方は居られませんので、行っていません。		重度化し、施設での共同生活が困難になった場合は、連携・支援する医療機関や関連施設へ移れるよう支援したいと考えています。
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在該当する方は居られませんし、検討や準備は行っていません。		該当した場合は、かかりつけ医に相談し、その判断による病院の対応等の橋渡しを支援します。緊急の場合には併設施設の看護職員に相談し対応します。
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	現在はありませんので、行っていません。		起こった場合は、家族や担当ケアマネージャーと協力し、本人が理解・納得するよう説明します。更に、施設でのADL等の情報提供を行い、別のところへ入居後も、本人・家族の希望により支援します。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>業務マニュアルの他、個人情報保護に対する基本方針・個人情報保護規定を定め、社内研修輪行い周知徹底を図っています。更に、職能基準でもプライバシーや個人情報管理について定め、定期的に評価しながら、プライバシーの確保の徹底に努めています。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>決定や判断は可能な限り利用者にして頂いています。又、理解度に応じた対応も行っています。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>大まかな日課は曜日で決めています、利用者のペースに合わせて決定しています。レクも利用者の要望を伺いながら行っています。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>前に記入しましたが、併設する施設の職員に美容師の有資格者がおり、髪のカットは本人の要望を聞いて行っています。又、日々の衣装の選択は、夫々の好みで自由に着ていただいております。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>下準備を含め利用者がすることがあります。更に、利用者に教えてもらいながら食事を作る場合もあります。配膳・下膳・テーブル拭き等は伝っていただいております。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>お酒・煙草を希望される利用者は居ません。正月に甘酒を造り飲んでいただきました。出来るだけ季節感があるものを提供して、日常的に楽しめるよう支援しています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	プライバシーに配慮しながら、声掛けをしています。ご利用者により夜間も定時に声掛けし、トイレ誘導・案内しています。排泄チェック表をつけて、利用者のパターンを職員が共有出来るよう努めています。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	原則1日3人の方の入浴が出来るよう準備しています。自分からお風呂に入りたいと云われる方はすくなくですが、利用者に向いながら入浴していただいています。		くつろいでゆっくり温まるよえうにします。又、浴槽でお話をしたり、歌を歌ったりすることは、コミュニケーションをとる良い機会と考えています。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりに合わせた安眠や休息の支援を行えるよう心掛けています。業務の都合で時間を決めないように努めています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	各担当職員を中心に、外出・歌、行事・お手伝い・特技・趣味と、夫々違う利用者に合わせて対応するよう努めています。		個々の持っている力を引き出せるよう、又、役割が持てるよう支援していきます。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	当施設では設立から現金はトラブルの原因となる為、お金のお預りはしていません。全て家族の了解のもと、立替金にて処理しています。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出を好まれる方が多いので、職員が用事(買い物・ゴミ捨て等)を足しに行くときには、出来るだけ一緒に出かけたりして支援しています。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	施設の行事として、天気の良い季節には月に2回ほどドライブや外出を行っています。弁当をもって出かけたこともあり、又、春のお花見の時には家族に行き先を連絡し、現地で待ち合わせをしたこともあります。今年も支援していきます。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からの電話がかかってきた時は、出来るだけ利用者と家族がお話出来るよう、電話口に出ています。手紙のやり取りはしていません。		絵手紙教室で練習し、家族に季節季節の絵手紙を郵送できるように検討しています。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	穏やかにくつろいで過ごして頂けるように心掛けています。施設内にはレク活動や行事の写真を飾ったり、ボランティアと行った習字も飾ってあり、お茶を飲んだりしながらゆっくり過ごせるようにしています。居室での歓談にもお茶を出したり、椅子を提供したりして支援しています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する社内研修を実施し、身体拘束は原則行わないこと、万が一のとき条件、記録、家族への説明、具体的な行為の説明、弊害等を説明し、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施設が4階にあり、施設からの出入り口はテンキーシステムを採用しています。施設内では鍵をかけることが、抑制であることを理解して、鍵を掛けないケアに取り組んでいます。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜を通して、ホールで職員が見守りを行い、所在安否・安全の確認をしています。又、呼び出しや異音がすれば直ちに対応しています。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の内服薬は事務所で管理・保管しています。刃物などはキッチン収納スペースで管理しています。又、利用者を使用するときは、怪我の無いよう見守り・安全に配慮しています。		夜勤1名の時間帯には誤飲防止のため、台所洗剤・スポンジは棚に入れて保管しています。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	カンファレンス、職員会議、ユニット会議の場で事故防止や改善の取り組みを行っています。転倒防止対策、食事の方法も個々に合わせた大きさや固さ、薬の種類(変更時)の確認・チェック方法など事故防止に取り組んでいます。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的には行っていませんが、AEDの設置や緊急対応マニュアルの周知・備付により緊急対応出来るよう備えています。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マンション・併施設設合同の非難訓練の実施を予定しています。非常口等の確認、取り扱いの説明は行っております。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	身体的・精神的な状態変化がおこった場合は、家族に連絡し、隣接する協力医療機関やかかりつけ医受診の検討や、深夜における対応について説明しています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタル測定・食事量・排便のチェックを行っています。更に、日頃より関わりを深く持ち、軽微な変化にも気付くような気配りをして、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けるよう努めています。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は病気・薬の内容の把握に努めており、変更があった時には、起こりえる症状も含めて把握に努めています。服薬時の、名前・時間・他の確認を確実にを行うよう指導しています。		内服薬の変更があった場合は職員への周知徹底を行っています。又、日々バイタル表を作成しています。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	夫々の便秘の原因を探り、まめに水分を提供し、水分チェック表を作成し管理しています。又、食物繊維のある食材の提供、適度の運動等に取り組んでいます。又、併設する施設の看護職員からのアドバイスも頂いて参考にしています。		冬場は特に運動不足気味になっているので、身体を動かすことに取り組んでいきたい。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後に声掛けをおこなって口腔ケアを実施しています。就寝前には義歯の消毒も行っています。		口腔ケアの重要性を理解し、清潔に保てるよう支援しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	同じメニューの提供ですが、夫々の摂取量もあり、盛付を方を考えています。上記のとおり水分と摂取量のチェックをしています。献立も高齢者が好むもの、季節感のあるものを提供しています。		むせやすい方にはトロミ剤を使用して対応しています。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染対策マニュアル(感染症に対する予防や対応の取り決め)があり、実行しています。		利用者のインフルエンザの予防接種は全員行っていません。職員も全員予防接種を受けました。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	安全で新鮮な食材の提供を心掛けています。そのため、食材の調達は、火・木・土に近辺のスーパー等に行っています。刺身等の生食は控えています。又、台所・調理用具の消毒も、塩素系や熱消毒を実施しています		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関入口には植木をおいて、又、利用者で四季の貼り絵を作成し、掲示して心がやわらくようにしています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お花を飾ったり、季節物(正月飾り、節分、雛人形、七夕飾り、クリスマス等)・新聞・雑誌を用意し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしています。前にも書きましたが、行事の写真や皆さんの習字の飾りつけもしています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルを囲んでお話をされたり、ソファでくつろがれたり、思い思いに過ごしていただけるよう工夫しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅より自分の家具や食器などを持ってきていただき使用して居られます。欲しいものがある場合は、家族に連絡し揃えていただけるよう支援しています。		利用者の馴染みのあるものを持ってきて頂けるよう、家族に働きかけをしています。もっと居心地の良い空間作りを支援していきます。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝の声掛けや清掃、訪室時に換気に努めながら、各々の状況に合わせて空気調整をしています。特に西日の当たる部屋は、室温が上昇するので配慮しています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の使う場所は、全てバリアフリーとなっています。共用部には殆どのところに手摺が設置してあり、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫しています。		全員がベッドを利用しています。リースベッドを使用している方には、一人とひりに合わせた高さ調整をし安全に努めています。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの理解力に合わせた言葉で対応しています。手順を一つ一つ説明することで出来ることも多くあると考えているので、職員同士の情報を密にして対応しています。		利用者の出来そうなことは、どんどん支援していきます。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外周は無理ですがベランダがありますのが、現在は活かした活動はしていません。		プランターミニ菜園を検討しています。利用者と楽しみながら野菜作りをし、支援して行きます。

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)